



舞台音響家のための公開講座 《基礎コース2024》レポート

レポート：(株)東京音響通信研究所

例年になく桜の開花が遅れたおかげで、今年の「舞台音響家のための公開講座《基礎コース》」は満開の桜に迎えられ、昨年と同じサンパール荒川・大ホールで行われました。

レポートは、4名が参加された株式会社東京音響通信研究所の皆さんにお願いしました。内容の大枠は変わらないものの、参加した皆さんの意見を取り入れながら少しずつアップデートしている講習会をどのように感じたか、お伝えしたいと思います。(編集部)

令和6年 舞台芸術等総合支援事業(芸術家等人材育成) 舞台音響家のための公開講座《基礎コース》

期 日：2024年4月10日(水)

場 所：サンパール荒川・大ホール(東京・荒川区)

講 師：

鈴木 悟 (株式会社MOON LIGHT)

鍋井 祐輝(オタリテック株式会社)

日本舞台音響家協会講師陣

主催・制作：公益社団法人日本舞台音響家協会

【タイムテーブル】

10:30～10:35 ガイダンス

10:35～11:25 「照明講義」

11:25～11:40 「照明バラシ作業」

11:45～12:30 「安全講義」

❖昼食休憩❖

13:30～15:45 「舞台音響の基礎実習」*

15:55～16:05 「基礎工具講座」

16:05～16:50 「舞台講義」



サンパール荒川

16:55～17:15 「特別講義ラインアレイ・スピーカーの原理」

17:15～17:25 質疑応答

*【基礎実習項目】

◎搬入・搬出、ラッシングベルト、スピーカースタッキング、スピーカーのスタンド立て、マイクスタンド立て、マイクケーブル8の字巻、ケーブル引き回し



【日本舞台音響家協会 基礎コース研修 レポート】

株式会社 東京音響通信研究所

猪瀬 稜子

4月10日サンパール荒川にて開催された、日本舞台音響家協会主催「舞台音響家のための公開講座《基礎コース》」に参加しました。

午前中は座学、午後は実技を行いました。

最初は照明についての基礎知識に関する座学を受けました。普段仕込み中に何気なく耳にする照明の用語の説明や実際に仕込んである灯体で光の三原色を使って様々な色を作り出すのを見たりしました。私は照明について全く知識がなかったので、少しですが学ぶことができたととてもよかったです。その後、劇場での作業時の安全講習を受けました。脚立での作業は必ず二人以上で行うことや、ヘル



段差があっても手すりのないのが舞台

メットや安全靴など自分の安全予防道具の必要さを教わり、講師の先生が実際に体験した実例などを聞き、改めて安全に注意して作業することの大切さを実感しました。



照明講義

午後は、参加者全員混ざって数人ずつのグループに分かれて実技を行いました。項目は、搬入搬出、ラッシングの掛け方、スピーカースタックの仕方、スピーカースタンドの立て方、マイクスタンドの立て方、8の字巻き、客席の本線の引き回し方の7項目ありまし

た。7項目の中で私はラッシング、スピーカースタック、本線の引き回しの3項目が個人的に受けてよかったと思いました。ラッシングはベルトを引っ張る時の方向やレバーの向きを考えるなど、自分が効率よくできる方法を教えてくださり勉強になりました。スピーカースタックは、d&b社のスピーカーを使って二人一組で降ろすのと上げるのをやりました。今までに、3点どめ方式のスピーカーをあまり触ったことがなかったので、最初うまく仕組みが分からず手こずりましたが、何回かやるうちに慣れてきました。自分の会社にはないピンの止め方を体験できたことがとてもよかったと思いました。そして、本線の引き回し方については、ホールによってドアの

ところをフックを利用して上に飛ばすことがあることや、今後バイトさんなどを使って自分一人で引き回しをすることもあるかもしれない際に、どのようにバイトさんに伝えて手伝って貰えばいいのかなどのアドバイスも教えていただきました。

実技をやった後は、仕事に必要な工具の説明とオタリテック社の方によるラインアレイスピーカーの講座を聞きました。私は自分用の工具箱をまだ持っていないのでどんなものが入っていたら便利なのか、今後の参考になりました。ラインアレイの話は、ラインアレイの歴史からポイントソースとの違いを学びました。二つのスピーカーのメリットデメリット使用目的を聞いて、自分が現場で使っている機材がどういうスピーカーでどんなメリットがあるのかを今後意識して仕事をしようと思いました。

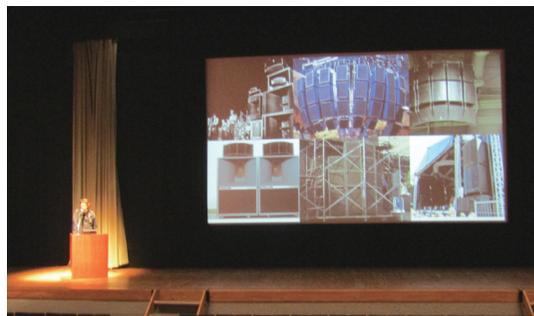
1日を通して、普段現場に行く際にどういう点に気をつけながら作業すれば良いのか、どういう風に動いたら効率よく作業ができるのかを改めて実感することができる講座だと感じました。また、いろんなコースを開催していることも知ったのでまた違うコースの講座を受けてみたいとも思いました。



搬入搬出



ラッシングベルトを掛ける



スピーカーの歴史について語るオタリテックの鍋井氏

【舞台音響家のための公開講義を受けて】

岡本 健太郎

4月10日にサンパール荒川にて「舞台音響家のための公開講義」を受けて来ました。

その時の講義内容や、講義を受けてのレポートになります。

講義が開始し、まず初めに照明セクションについての説明をしていただきました。

その中の内容としては、照明機材の種類、それぞれの機材にある特徴を説明していただき、その後、実際に説明で出てきた機材を使用し講義していただきました。

照明の機材のことについても知れる良い講習だったと思います。



照明バラシも公開

続いて安全についての説明をしていただきました。舞台に関わるうえでとても重要な内容で、これからもより意識して仕込み作業などを行っていくことが大切だと思いました。

そして舞台音響の基礎実習では

1. 八の字まき
 2. 搬入搬出作業
 3. SPスタック作業
 4. ラッシングの使い方
 5. マイクスタンドの扱い方
 6. スピーカースタンド立て
 7. 客席へケーブル引き回し
- の7項目にそれぞれ担当の講師の方がおり、1セクションあたり15分で講義を行いローテーションして7エリアの講習を受ける形でした。



マイクケーブル8の字巻き

搬入搬出作業ではスピーカーやコンソールが入っているケースを下手袖から上手袖に運び込む作業をし、周りの機構の邪魔にならない所に搬入する作業でした。

SPのスタック作業では、ラインアレイスピーカーを使い、二人で一本ずつスタックしてゆく作業を致しました。他の参加者はスタックしたことが無いようでしたが、講師の方が丁寧に説明をし、スピーカーをスタックしておりました。

ラッシングのセクションでは、箱馬を使用して台座と箱馬を固定する作業をいたしました。

私は日頃ラッシングを使用して機材等を固定することがあるので初めてラッシングを使用する参加者へ説明をしてあげ、二人で協力し固定作業をすることができました。

マイクスタンドを使用するエリアでは、マイクスタンドの立て方、それぞれの機構がどのように機能するかを解説し、実際に一人一人がマイクスタンドを立て、マイクをスタンドに装着する作業をいたしました。

次のセクションではスピーカーをスタンドに立てる作業でした。

内容としては、スピーカースタンドの機構の説明をしていただきました。

スピーカーはとても重いものなのでスタンドに立てるときは

「スタンドが歪んでいないかネジが緩んでいないかなどの不備をしっかりと確認し、高さが出るものなので客席に倒れたりしないようセーフティーを取る」などと講義しておりました。



スタンドの高さの上限について説明



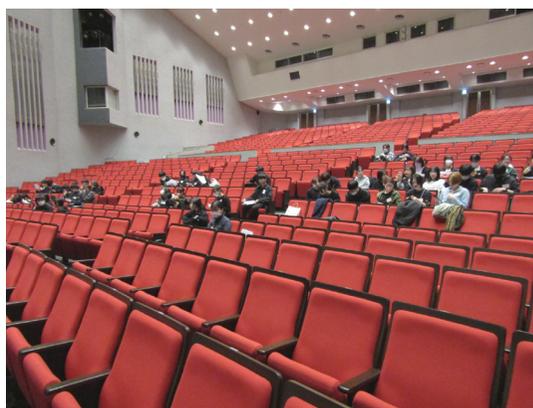
ケーブルは、モガミ電線株式会社様、ノイトリック株式会社様から提供して頂きました

そして最後に客席へのケーブルの引き回しですが、上手花道あたりからFOHに設置してあるステージBOXへOpticalとLANケーブルを引き回す体験でした。

客席へケーブルを引くときに注意しなければならないのは、お客様が通路などに張っているケーブルに引っかかってつまずいてしまったりなど、危険なことが無いように引き回すことが大事などと説明をし、危険な箇所を作らないように引き回すということをしました。

講義を受けて感じたこととしては、この講義は音響のことや舞台について全く知らない方、専門学校を卒業し、音響会社等に新入した方にとっては、為になる講義だと思います。

ただし、参加者の対象としては舞台業務経験3年以内ではなく、舞台業務経験3ヶ月以内までの範囲が適切だと感じました。今回講義を受け再確認できたので良かったと思いました。



受講者の皆さん

【舞台音響研修を受けて】

齊藤 幸太

1. 研修の内容

・照明機材についての簡単な説明

凸ライト、フレネルライトなどライトの種類の説明や、種類別ライトの特性など、照明機材に関する最低限の知識講習

・舞台作業者の安全に関するガイドライン講習

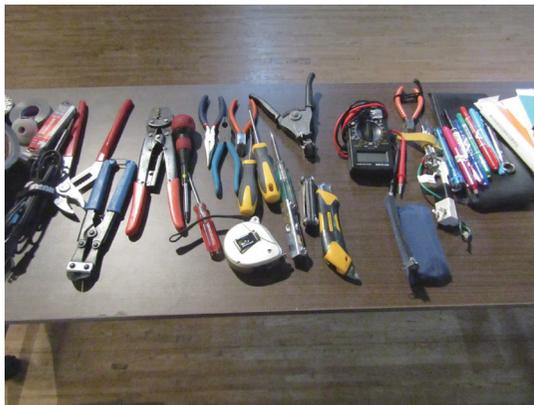
今まで舞台作業中起きた事件の例や、仕込みで脚立を使用する際に気をつけるべき注意点など、作業時の安全に関する講習

・実習作業による体験講習

FOHとステージ間のケーブル引き回し作業



スピーカーのスタック作業



工具いろいろ

の体験、搬入搬出を想定した機材の運搬作業の体験、ラッシングの使い方、d&bスピーカーを使用したスピーカースタック作業の体験、スピーカースタンドの立て方、マイクスタンドの立て方、8の字巻の巻き方の講習

・作業で使用する工具の基礎知識講習

現場で使用する、又は持っておくと便利な工具(ニッパー、ドライバー、変換コネクターなど)の説明。

・ラインアレイスピーカー講習

ラインアレイスピーカーの成り立ち、ラインアレイの特徴などのラインアレイスピーカーに関する知識講習。

2. 講習を受けての感想

講演の内容は音響の仕事をするための基礎的部分、または照明に関する最低限の知識でした。主に基礎的な内容ではありましたが、実際、作業の慣れと時間短縮のために現場では安全性が少し欠如した作業の仕方があったのではと自分を見つめ直すきっかけとなりました。そして今回の講習を受けたことで、今



ST210にマイクを取付ける

後新しく会社に入社してくる新入社員の方に指導する手本にできるのではないかと感じました。今後も今回のような講習があれば2、3年目の社員の方に安全性の再確認、又は指導の手本として受講すると良いと思いま

す。又は入社1年目の新入社員の方に受講していただくと、実際の現場に近い環境で様々な体験できる良い機会になると感じました。

以上

【舞台音響家のための公開講義《基礎コース》】

野村 清美

・照明についての講習は比較的わかりやすかった。シンプルな仕込みの解説、機材の仕組み、バトンの種類など音響として現場に出る際にも知っておいて損はない内容でタメになった。

先生のピンマイクのジャケットの擦れノイズとハウリっぽいのが気になった。

・「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」を用いての安全講習では、資料はほぼ追わずお話がメインだった。資料の内容を追うだけでは話が入っていきにくいのはわかるが、目次を見てざっと内容を説明するのであれば、搬入後の仕込み流れで他セクションもいる中で特に注意すべき危険ポイ

ントなどが知りたい。

講師の先生の経験談でたくさんのスタッフが怪我や亡くなったことを聞いたが、先生が辛そうに話していて途中から心配になった。

・脚立の危険対策は先生が多くいるなら実際に両端に乗ってみての実演があってもいいのかも

・マイクスタンドの立て方講習の際に、マイクホルダーの規格がJISでAKGのスタンドにはまらなかった。スタンドは持ち込みでマイクがホールのものであったようだが、あらかじめ確認して置いて欲しいものだった。新人の方にはわかりにくい毘だった。

・マイクケーブル8の字巻き練習でたまたま



脚立を使つての安全講習



客席内でのケーブル敷設

当たったケーブルのバミリ後？のビニテが巻いてあったのでやりにくかった。

・本線マルチひきの練習は、実際3人等でひくであろうケーブルを同じグループ8人でついてひくと、現場で何を考え注意してひくべきなのかがわかりにくかった。ケーブルをひいている際、階段付近の手すりのところで



鉄管結びを全員で

引っかかってテンションがかかっていたのに気にしている先生がいなかった。

◎ ◎ ◎ ◎

厳しいご指摘はわれわれにとって糧となり、引いては音響界の糧になります。協会としてさらなるアップデートに務めたいと思います。ありがとうございました。

